

公益社団法人日本トライアスロン連合(JTU)
2018年度(平成30年度)第2回理事会 議事録

[1]開催:2018年9月20日(木)13:01~18:04

[2]場所:JTU事務局(東京都渋谷区)会議室

[3]出席者(理事21名、監事1名):

岩城光英、國分孝雄、森崎俊紘、仲井公哉、大塚眞一郎、中山正夫、
岸田吉史、飯島健二郎、鈴木貴里代、山倉紀子、和田知子、関根明子、
山根英紀、富川理充、増田芳一、大関辰郎、園川峰紀、小林洋、宗定敏文、
川崎寛典、加納修二、森兵次(以上、理事)。荻原政吉(以上、監事)。

・専門委員出席(3名)

中山俊行(オリンピック対策チームリーダー)、福井英郎(コーチ委員長)、
中島靖弘(マルチスポーツ対策チームリーダー)。

・事務局出席(3名)坂田洋治、土屋佳司、児玉健太。

[4]議事の経過

JTU 定款第6章(理事会)第34条(決議)により、事務局が出席理事を一人ずつ確認し、定足数を満たしていることを報告した。定款33条(議長)により、岩城会長が議長として慶弔関係報告を行い開催宣言を兼ねた挨拶の後、定款第23条(理事の職務及び権限)による会長及び業務執行理事の職務執行状況が報告された。その後、議事録確認者に大塚専務理事と園川理事、議事録作成者に事務局を指名した後、第4号議案の追加が承諾され、議案の審議に入った。

第1号議案)前回議事録

2018年度(平成30年度)第1回理事会の議事録案について、メール回覧済であることを報告した後に議長が賛否を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

・承認事項)2018年度第1回理事会(5月30日 JTU 事務局開催)の議事録案

第1号議案)オリンピック対策チーム関連

標題について土屋強化進行管理ディレクターから事業進行状況の報告後、中山リーダー及び強化担当理事からの事業報告があった。審議事項については、事務局から説明があり、質疑応答の後に議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項1)アジア大会(報奨金)

個人種目金メダル 50 万円、銀メダル 35 万円、ミックスリレー金メダル 60 万円(1人 10 万)、銀メダル 30 万円(1人 5 万)*出場 4 選手と補欠 2 名を対象とする。

・報告事項1) オリンピック対策チーム進行管理状況

JOC 及び JSC から国庫補助金の助成枠組みを説明後、大会派遣・合宿事業の実績と計画が報告された。2019 年度はメダル獲得の可能性が高い競技への補助金拠出が高まる傾向にあることが報告された。

・報告事項2) JSC 次世代ターゲットアスリート育成支援事業

2017 年度から同事業でコーチング契約を締結している外国人コーチとの契約内容を再検討中であることが報告された。

・報告事項3) 2018 年大会総括

中山リーダーから、ITU 世界トライアスロンシリーズグランドファイナル (WTSGF) 及びアジア競技大会の結果報告の後、飯島常務理事他から次の説明があった。アジア大会 (2018 インドネシア) は目標の男女個人及びミックスリレーでの金メダル獲得を達成。一方、WTSGF では連戦での影響もあり 8 位入賞の目標達成ができなかった。

第3号議案) パラリンピック対策チーム関連

標題について土屋強化進行管理ディレクターから事業進行状況報告の後、富川リーダーから説明があり、質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項1) JPC 特別強化指定候補選手への推薦選手

・推薦選手) 土田和歌子 (女子 PTWC)

・JPC 特別強化委員会の選定により、2020東京大会で金メダル獲得の目標達成に向けた総合戦略に基づき認定。

・承認事項2) 2018 年「東京パラスポーツスタッフ認定制度」スタッフ推薦

本制度の公益性を考慮し、短期間であっても公募することとなった。

・報告事項1) パラリンピック対策チーム進行管理状況

オリンピック対策チーム同様に、助成金枠組みと助成事業実施状況の報告があった。富川リーダーから ITU 世界パラトライアスロン選手権の結果報告があった。銀メダル1個、銅メダル1個を獲得したが、世界的に競技力が向上しており、2020 東京大会に向け、強化策を講じていくことが報告された。

第4号議案) 2020 東京オリンピック・パラリンピック日本代表選手選考

標題について大塚専務理事から、2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会日本

代表選考基準策定委員会の設置と日程について説明があり、これに関わる JTU 専門委員会規程の改定提案があった。質疑応答の後に、議長が賛否求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

・承認事項1) 日本代表選考基準策定委員会の設置

同委員会の委員は JTU 理事会から2名、監事1名、外部有識者若干名の計5名以上を選出予定。委員長の選出は理事会承認事項であり、会長に一任することとなった。

・承認事項2) JTU 専門委員会規程の改定

JTU 専門委員会規程・追加箇所

(専門委員会の設置) 第7条 JTU に次の各号に掲げる専門委員会を置く。

(21) 日本代表選考基準策定委員会 (22) 日本代表選手選考委員会

(日本代表選考基準策定委員会)

第28条 日本代表選考基準策定委員会は、JTU 理事会からの依頼により、オリンピック等の選考に関わる規程、基準に関する事項について分掌する。

・理由) オリンピック等に関わる重要な選考規程・基準を広い見地から立案するため。

(日本代表選手選考委員会)

第29条 日本代表選手選考委員会は、JTU 理事会からの依頼により、オリンピック等への代表選手選考に関わる事項について分掌する。

・理由) オリンピック等に関わる重要な選手選考を選考規程・基準等に基づき公平に行い、理事会に提出するため。

・承認事項3) オリンピック選手基準策定スケジュール

・2018年9月20日: 日本代表選考基準策定委員会の設置

・同12月7日: 日本代表選考基準(理事会承認)

・同12月上旬: 日本代表選考基準(発表)

・補足事項) 代表選手選考委員会は次回理事会(12月7日)審議事項とする。

パラリンピックの選考は ITU のクオリフィケーションクライテリア発表後に詳細を決定する予定。

第5号議案) マルチスポーツ対策チーム関係6項目

標題について、中島マルチスポーツ対策チームリーダーから説明があり、質疑応答の後に議長が賛否を求めたところ、文言の統一整理などを行うことを前提に、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項1) 2019 年世界アジアデュアスロン選手権エリート日本代表選手選考基準
- ・承認事項2) 2019 年 JTU デュアスロン強化指定選手制度
- ・承認事項3) 2019 年 JTU 主催・共催デュアスロン大会エリート出場基準
- ・承認事項4) 2019 年 ITU 世界クロストライアスロン選手権日本代表選手選考基準
- ・承認事項5) 2019 年 ITU 世界アクアスロン選手権(エリート、U23、ジュニア)日本代表選手選考基準
- ・承認事項6) 2019 年 JTU ロングディスタンス トライアスロン強化指定制度

第6号議案) 専門委員会委員の追加

標題について、事務方から説明があり、質疑応答の後に議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項) アスリート委員会の委員に石塚祥吾(日本食研/愛媛)選手を追加する。

第7号議案) 審判・技術関係2項目

標題について、事務方から説明があり、質疑応答の後に議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項1) JTU 大会誓約書・承諾書

* JTU 主催大会等で使用してきた「誓約書」を社会的な状況などを勘案し「承諾書」として改定した。内容調整は主催者によるものとする。

- ・承認事項2) 第1回全国高等学校トライアスロン選手権(技術代表・審判長)

- ・技術代表: 仲宗根達也(兵庫、第1種審判)、審判長: 古郷康介(大阪、第1種審判)

[5] 報告と提案

1) 事故調査委員会の関連

宮崎ナショナルチーム合宿での事故について、仲井副会長から、継続して調査と対応を実施していることが報告された。

2) WTS モントリオール大会(2017年)での日本選手失格に対する対応報告

WTS モントリオール大会での日本女子選手失格判定に対する不服申し立てについて、和田理事から国際スポーツ仲裁裁判所(スイス・ローザンヌ)の裁定結果判定報告があり、FOP 競技判定に変更はないものの、非スポーツマンシップ行為との記述は取り下げられ、選手の名誉は守られたことが報告された。

3) 東京 2020 大会関連

鈴木理事(東京 2020 スポーツマネージャー)から、コース・大会日程とテストイベント開催概要、競技ボランティア募集内容が報告された。東京 2020 パラリンピック競技大会パラトライアスロン実施クラスは、全クラスの選手が出場できるよう ITU・IOC に働きかけて行くことが報告された。

4) ASTC アジアトライアスロン・パラトライアスロン選手権(2020/廿日市)

韓国での ASTC 理事会(2019 年 6 月開催)での開催地決定予定が報告された。

5) 2018 年日本デュアスロン選手権

開催主催地の関連団体等との調整案件から、2018 年度の開催を見送り、2019 年度に向けて準備に入ることが報告された。

6) 三重国体の会期

第 76 回国民体育大会トライアスロン競技(三重県)の会期について、2021 年 10 月 3 日(日)を第一候補とし、公財)日本スポーツ協会に申請することが報告された。

7) 第1回全国高等学校トライアスロン選手権報告

選手アンケートの実施状況について、園川高校生普及委員長からの報告後、岸田常務理事から次年度に向けた継続開催計画について補足説明があった。

8) ITU アスリート委員会推薦

ITU アスリート委員会(2年毎改選)に上田藍選手(現 ITU アスリート委員)を再任推薦することが報告された。

9) JSC 女性エリートコーチ育成プログラム(スポーツ庁委託事業)

標記プログラムに関根理事が採択されたことが報告され、本人ら経緯と抱負が述べられた。

10) コーチ委員会体制

福井コーチ委員長から、コーチ委員会の活動活性化のために、ブロックリーダー体制構築と強化チームに向けた連携体制案が報告された。

11) アンチ・ドーピング教育啓発担当者推薦状況

標題について、村瀬理事から推薦状況報告があり、関東、東京、北信越、中国ブロックからの推薦が報告された。未推薦のブロックからの推薦手続きが要請された。

12) 外務省スポーツ外交推進事業スポーツ・フォー・トゥモロー事業
標記の一環として、フィリピントライアスロン協会から選手・スタッフ5名が招へいされ東京、京都(AS 京都チームでの合同練習参加)での国際交流が報告された。

13) IOC オリンピックソリダリティ東京 2020 特別プログラム
標記に対応し、アフリカ・ルワンダ共和国への山中良晃委員(福岡)を派遣することが報告された。

14) アジアオリンピック評議会(OCA)「スポーツと環境賞」
OCA 創設のスポーツと環境賞に、「世界トライアスロンシリーズ横浜大会」の環境活動への取り組みが評価され、同賞を受賞したことが報告された。

15) 2019 年度 JTU 会員登録の受付スケジュール
JTU オンライン上で、2018 年 11 月 6 日(火)から会員受付を開始することが報告された。

[6]次回理事会:

2018 年度(平成 30 年度)第3回理事会:

- ・日時:2018 年 12 月 7 日(金)13 時開始予定
- ・会場:渋谷アイビーホール(東京都渋谷区渋谷4丁目4-25)

[7]閉会宣言

國分副会長の挨拶の後、本日の理事会すべてが終了したことが告げられ、18 時 4 分に閉会した。

議事録署名人:

(岩城光英・議長・会長・代表理事) (印) 2018年 月 日

(荻原政吉・監事) (印) 2018年 月 日

(大塚眞一郎・専務理事) (印) 2018年 月 日

(園川峰紀・理事) (印) 2018年 月 日

=以上=